

スキップ

No.20

2011年9月20日

J R 東海労働組合

秋の闘いシリーズ⑤

駅に必要・適正な要員が配置されていますか！

駅で働く仲間の皆さん！

◎目の回るような忙しさ、やってられません！要員が必要！！

- ①東京駅では、一日の遺失物取扱いが平均で300件（過去最高533件）にも及び、遺失物の捜査、パソコンへの遺失物入力、発送手配等の業務に追い立てられています。多客期は遺失物が増え、超勤対応を余儀なくされています。また、遺失物の取扱い件数が多く、本来業務に支障をきたしている駅もあります。
- ②駅周辺でイベントが開催される時は、通常をはるかに超える乗客が駅を利用し、出札窓口に大行列ができ、改札が大混雑します。しかし、多客に対応する適正要員は確保されていません。
- ③夜間一人体制となる駅では、出改札、遺失物業務、車いす等の業務を一人でこなさなければなりません。時には出札窓口を閉めて、車いすの業務にあたる事態にも直面します。また、集中豪雨や踏切事故、触車事故による列車ダイヤが乱れた時は、案内、苦情対応等、業務が増えます。だから安全上、駅の一人での泊勤務は非常に問題です。

◎勉強会の休日指定はだめ！休日は休むべき！

駅では毎月、1時間30分～2時間の営業・運転勉強会が超勤で行われています。それぞれ約3日間の設定のため、休日に指定される社員もいます。さらに非管理駅の社員は管理駅まで出向いて勉強会に参加します。ところが、この移動時間は労働時間にはカウントされていません。業務指示で勉強会を行っているのですから移動時間は、労働時間にカウントすべきです。しかし名古屋運輸区では、名古屋駅や名古屋車両区で現車訓練を行っていますが、移動時間がカウントされています。一方ではただ働きを強要されている現実があります。JRユニオン・国労指導部の皆さん！この違いをどう考えますか？休日は休養をとるためにあることを会社にももの申していますか？

駅に関する主な要求項目

1. 遺失物業務の多い駅に適正要員を配置すること。
2. イベント開催日は、多客に対応できる適正要員を確保すること。
3. 駅での泊勤務は2人体制とすること。
4. 勉強会は、休日に指定しないこと。移動時間を労働時間としてカウントすること。

私たちは職場の声を交渉に反映させ改善に向けて取り組みます！